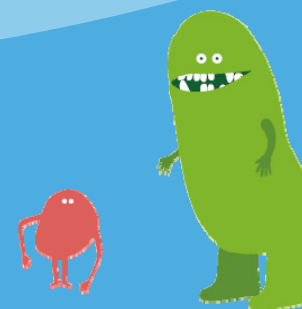
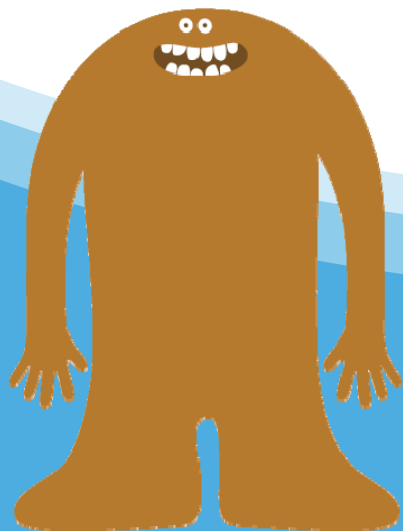


ナブテスコ株式会社

2015年3月期決算説明会

2015年5月13日

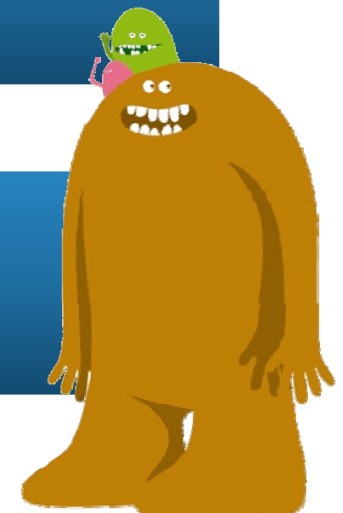


当資料に掲載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、掲載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証したりするものではありません。
当資料に掲載されている内容のうち数値は表示単位未満を切り捨て、比率は四捨五入して表示しています。

1. 2015年3月期連結業績概況

2. 2015年12月期見通し

3. 中期経営計画について



1. 2015年3月期連結業績概況



2015/3期サマリー（前期比）

■ 2015/3期は、売上高、営業利益、当期純利益ともに過去最高値を更新



2015/3期 プラス要因

精密減速機事業：

想定を上回る産業用ロボット需要増に加え、工作機械およびその他FA向け需要も伸長

鉄道車両用機器事業：

中国高速鉄道向け需要増に加え、国内外でのMRO *拡販が順調に推移

船用機器事業：

国内外造船所での潤沢な手持ち工事量を背景に売上増、MRO拡販が順調に推移

自動ドア事業・航空機器事業：

円安に伴う為替効果を楽しむ



2015/3期 マイナス要因

油圧機器事業：

中国建機市場での需要低迷により減収

*MRO: Maintenance Repair Overhaul

連結業績概況

■売上および各利益とも1/30修正予想値を達成、増配を予定

(単位：百万円)	2014/3 実績 (A)	2015/3 1/30 修正予想	2015/3 実績 (B)	前期比 増減額 (B-A)	前期比 増減率 ((B-A)/A)
売上高	202,292	217,000	219,657	17,365	8.6%
営業利益	20,092	23,000	23,615	3,522	17.5%
(営業利益率)	9.9%	10.6%	10.8%	0.9pt	-
営業外損益	4,134	-	3,578	-556	-
経常利益	24,227	26,100	27,193	2,966	12.2%
特別損益	-705	-	-166	538	-
税金等調整前 当期純利益	23,522	-	27,026	3,504	14.9%
当期純利益	14,978	17,200	17,746	2,768	18.5%
一株当たり 純利益	117.95円	135.92円	140.24円	22.29円	

一株当たり 配当金	38円	40円	44円(予)	6円
配当性向	32.2%	29.4%	31.4%(予)	-0.8pt

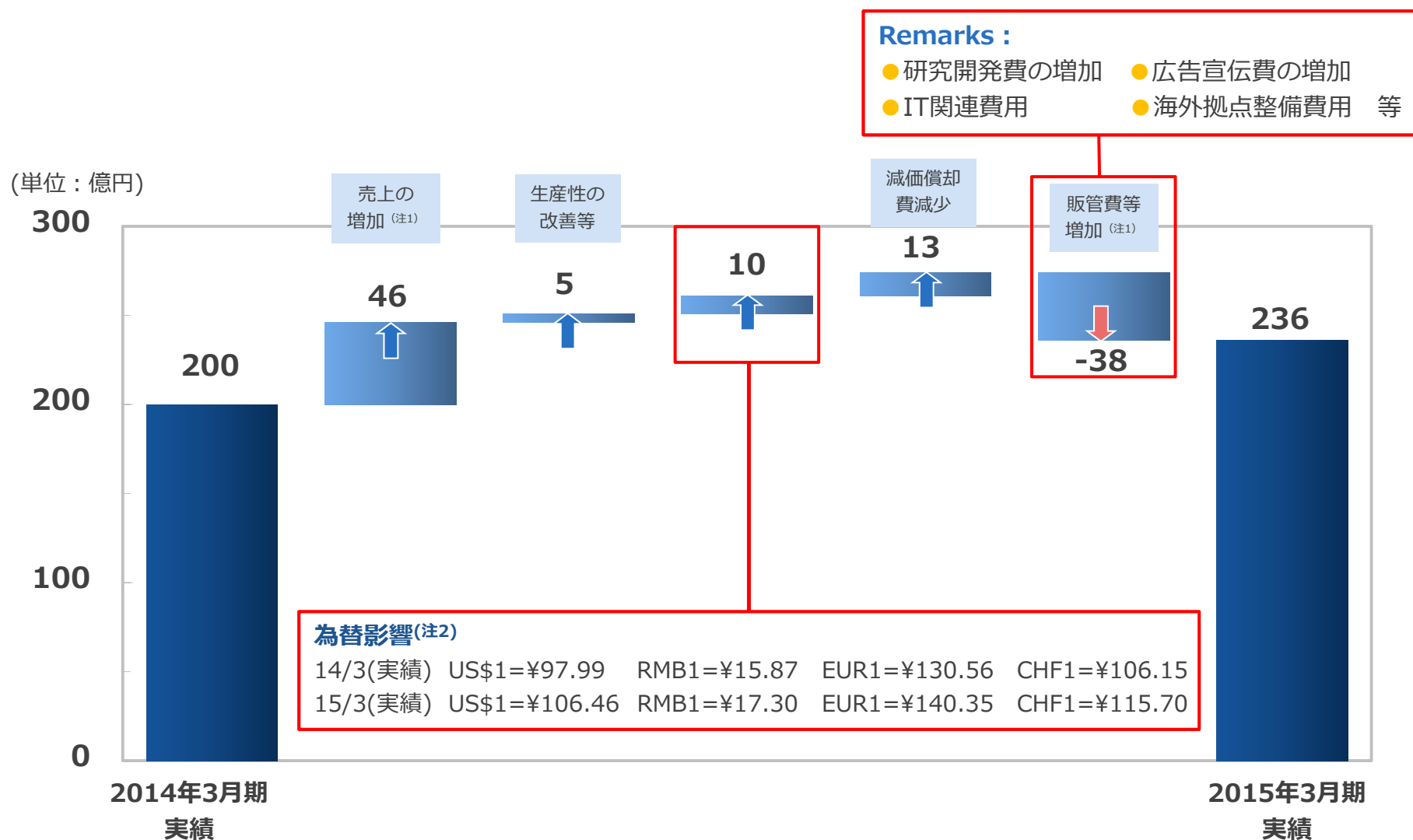
Remarks :

特別損益 (損失の主な内容：前期比)

- 退職給付制度改訂損等の未発生
- 固定資産売却益の減少

注：当社海外子会社に関しては1～12月決算であり、3ヶ月分の期ずれが生じております。

連結損益実績（営業利益変動要因分析）



注1：売上の増減および販管費等の増加による営業利益の変化については為替影響を除き計算。

注2：為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響) 米国ドル 91百万円 人民元軽微、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

BS概況

■自己資本比率の適正化が課題

(単位：百万円)

	2014/3期末 2014年3月31日現在	2015/3期末 2015年3月31日現在	差異
資 産	233,984	245,992	12,007
(現 預 金 等)	53,725	51,157	-2,568
(売 上 債 権)	52,840	57,115	4,275
売上債権回転日数	88日	91日	3日
(棚 卸 資 産)	22,233	25,165	2,931
棚卸資産回転日数	53日	55日	2日
(有 形 固 定 資 産)	55,225	56,877	1,651
負 債	94,513	87,327	-7,185
(有 利 子 負 債)	26,204	16,659	-9,544
純 資 産	139,471	158,664	19,192
(新 株 予 約 権)	306	391	84
(少 数 株 主 持 分)	8,121	8,410	289
自 己 資 本	131,043	149,862	18,818

Remarks :

- 長期借入金の返済
-10,000百万円

Remarks :

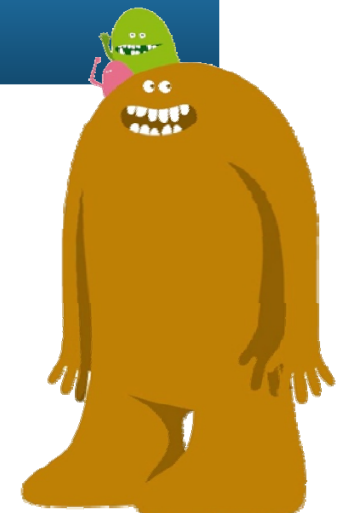
- 利益剰余金
+13,329百万円
- 為替換算調整勘定
+ 3,656百万円
- その他有価証券評価
差額金
+1,663百万円

※ 自己資本比率：

56.0%

60.9%

2. 2015年12月期見通し



決算期変更および計画値の表記について

2015年12月期(短信ベース)

(国内9カ月、海外12カ月)

	2015年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
当社および国内連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期		
海外連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期		



短信ベース連結業績期間

第1四半期

第2四半期

第3四半期

2015年12月期 (参考)

(12カ月間)

	2015年												2016年		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
当社および国内連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
海外連結子会社				第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		

「2015年12月期 (参考)」として示す数値は、「2015年3月期業績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となりますのでご留意下さい。

*決算期変更は2015年6月開催予定の第12回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されることを条件とします。

通期連結業績見通し

■ 2015/3期に続き、2015/12期は参考値ベースで、売上高、営業利益、当期純利益ともに最高値を更新する見通し

(単位：百万円)	2015/3 実績 (A)	2015/12 計画(参考) (B)	前期比 増減額 (B-A)	前期比 増減率 ((B-A)/A)
売上高	219,657	242,000	22,342	10.2%
営業利益	23,615	24,700	1,084	4.6%
(営業利益率)	10.8%	10.2%	-0.6pt	-
経常利益	27,193	26,800	-393	-1.5%
当期純利益	17,746	18,400	654	3.7%
ROA	7.4%	7.2%	-	-
ROE	12.6%	11.9%	-	-

一株当たり配当金	44円 (予)
配当性向	31.4%(予)

2015/12 計画 (短信ベース)
200,000
17,900
9.0%
19,700
13,400
5.3%
8.8%

Remarks : 売上高(参考vs実績)
● 油圧機器・自動ドアでの買収に伴う売上増
● 産業用ロボット向け精密減速機的需求増
● 中国向け鉄道車両用機器の需要増

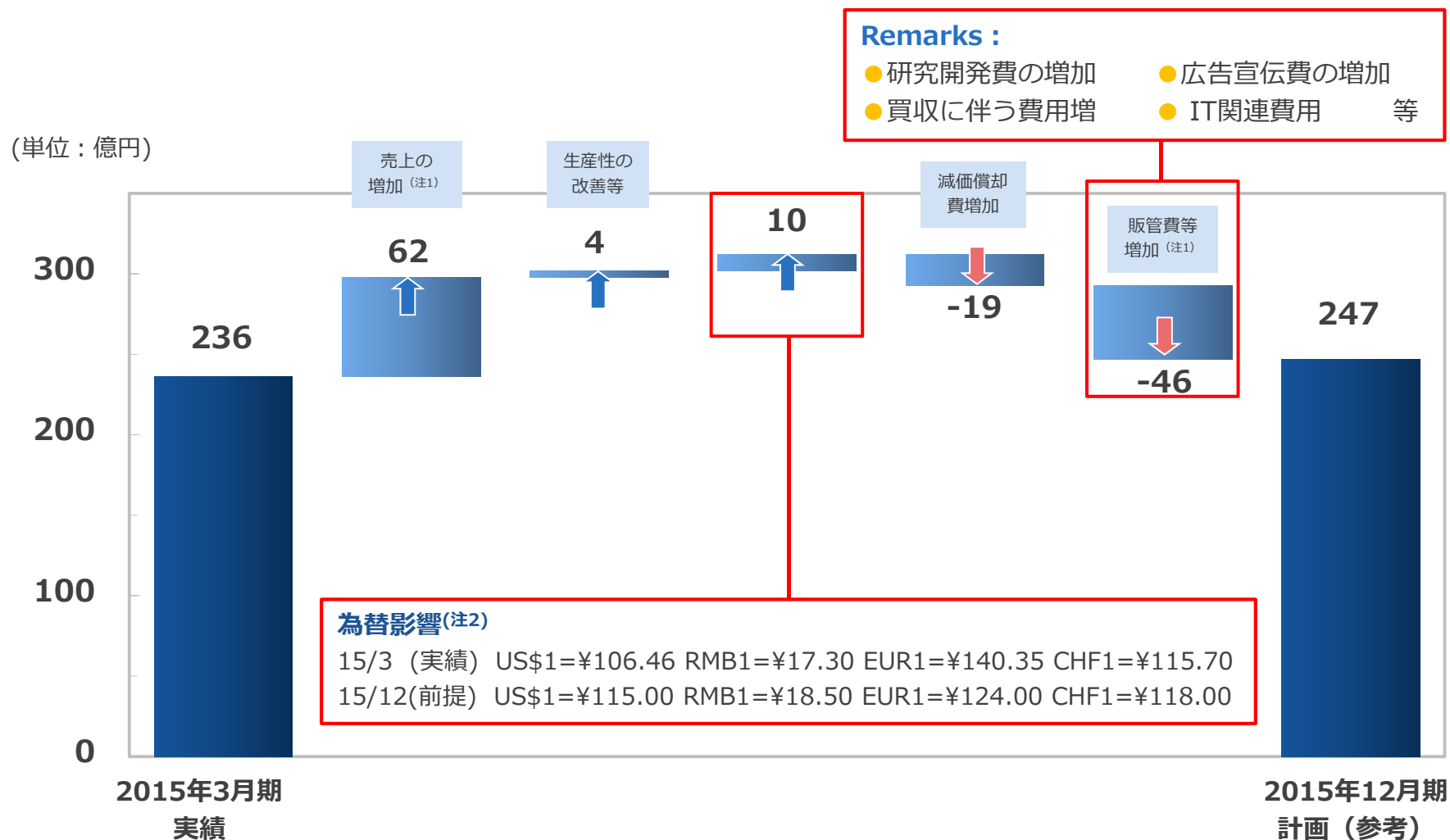
Remarks :
営業利益率(参考vs実績)
● 増収効果を見込むものの、中長期的な成長に向けた戦略投資負担により微減
営業利益率(参考vs短信ベース)
● 国内外での集計対象期間の相違および季節性の影響による差異

44円 (予)
41.6%(予)

Remarks :
配当金
● 2015年12月期は決算期変更により決算期間が短縮されるものの、配当の時期は、9月30日、12月31日を基準日とした年2回の配当を実施予定

「2015年12月期（参考）」として示す数値は、「2015年3月期業績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となりますのでご留意下さい。

連結損益予想（営業利益変動要因分析）



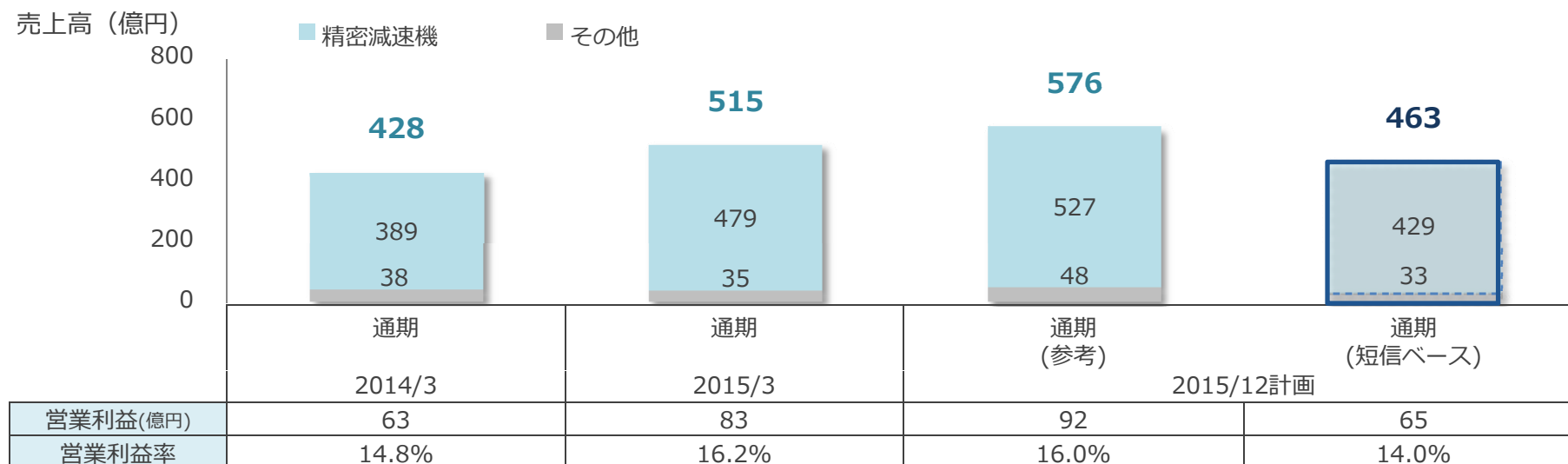
注1：売上の増減および販管費等の増加による営業利益の変化については為替影響を除き計算。

注2：為替感応度(為替が1円変動したときの営業利益に対する影響) 米国ドル 92百万円 人民元軽微、ユーロ軽微、スイスフラン軽微

*「2015年12月期計画(参考)」として示す業績数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間(12カ月間)に置き換えて算出した数値となりますのでご留意下さい。

精密機器事業

業績実績及び計画



「2015年12月期計画（参考）」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となります。

前期比増減要因

精密減速機

- 15/3 : 自動車産業の旺盛な設備投資に牽引された産業用ロボット、工作機械およびその他FA向け需要の伸長により増収
- 15/12 (参考) : 旺盛な設備投資の持続により、増収の見通し

新エネルギー事業

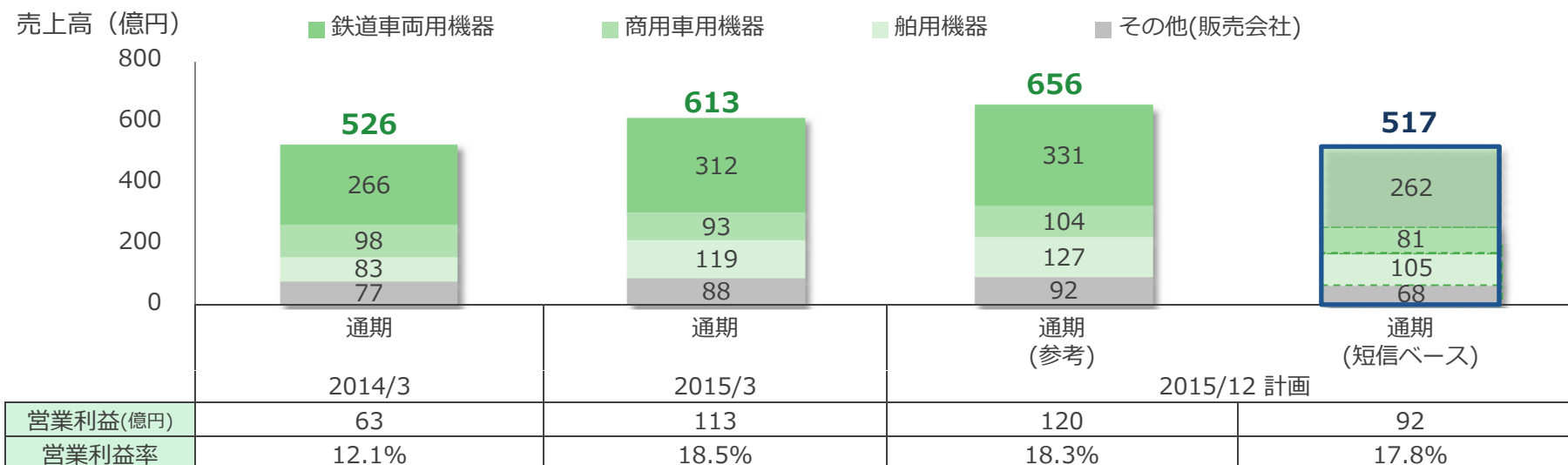
- 15/3 : 風力発電向け売上が為替効果により微増
- 15/12 (参考) : 前期における風力発電機用駆動装置での一部調達品不具合の影響が一巡し、増収の見通し

営業利益(セグメント)

- 15/3 : 精密減速機の売上増加および新エネルギー事業でのコスト削減により増益
- 15/12 (参考) : 精密減速機での津工場能力増強費用・中国新工場の立ち上げ費用が発生するものの、増収効果により増益の見通し

輸送用機器事業

業績実績及び計画



「2015年12月期計画 (参考)」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間 (12カ月間) に置き換えて算出した数値となります。

前期比増減要因

鉄道車両用機器 :

15/3 : 中国高速鉄道向けおよびMRO売上増加により増収

15/12 (参考) : 国内新車向けでは減収を見込むものの、中国鉄道向けおよびMRO売上の増加により増収の見通し

船用機器

15/3 : 国内外造船所での潤沢な手持ち工事量に伴う売上増およびMRO拡販により増収

15/12 (参考) : 電子化エンジン制御機器の需要増およびMRO拡販により増収の見通し

商用車用機器

15/3 : 海外トラック需要が減少したものの、国内需要が堅調に推移し横ばい

15/12 (参考) : 国内需要は一服するものの、東南アジア向けトラック需要の回復により増収の見通し

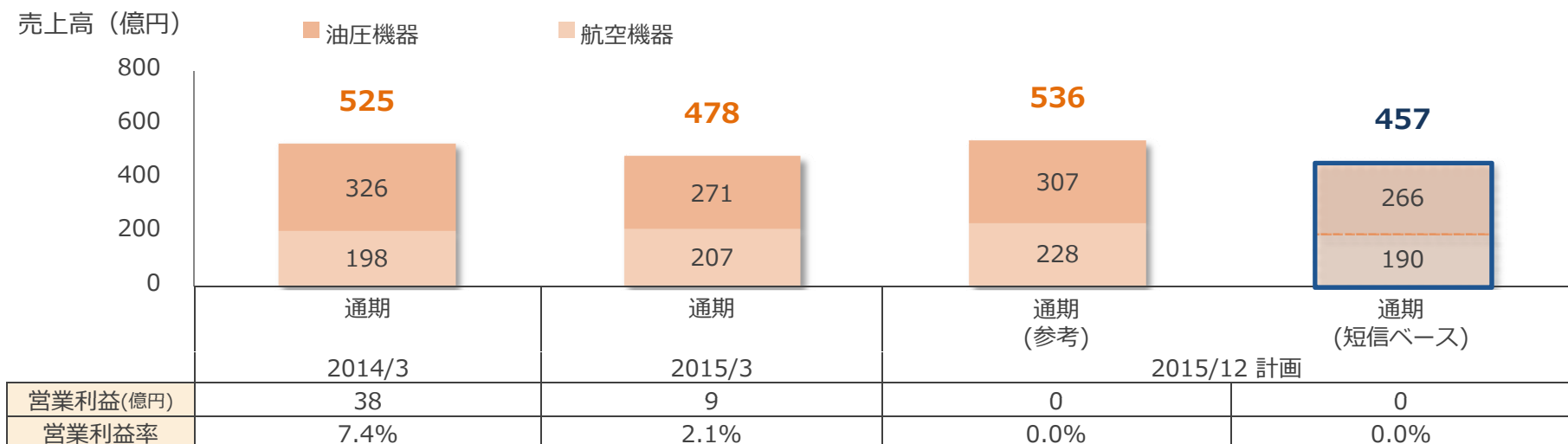
営業利益(セグメント)

15/3 : 鉄道車両用機器・船用機器の売上増およびMRO拡販により増益

15/12 (参考) : 各事業での売上増およびMRO拡販による増益の見通し

航空・油圧機器事業

業績実績及び計画



「2015年12月期計画（参考）」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となります。

前期比増減要因

航空機器

15/3 : 民間航空機向けの売上拡大および為替効果により増収

15/12 (参考) : 前期に引き続き、民間航空機向けの売上拡大および為替効果により増収見通し

油圧機器

15/3 : 中国における建設機械需要減の影響により減収

15/12 (参考) : 中国における建設機械需要の低迷が持続するものの、ハイエストコーポレーション買収に伴う売上増により増収見通し

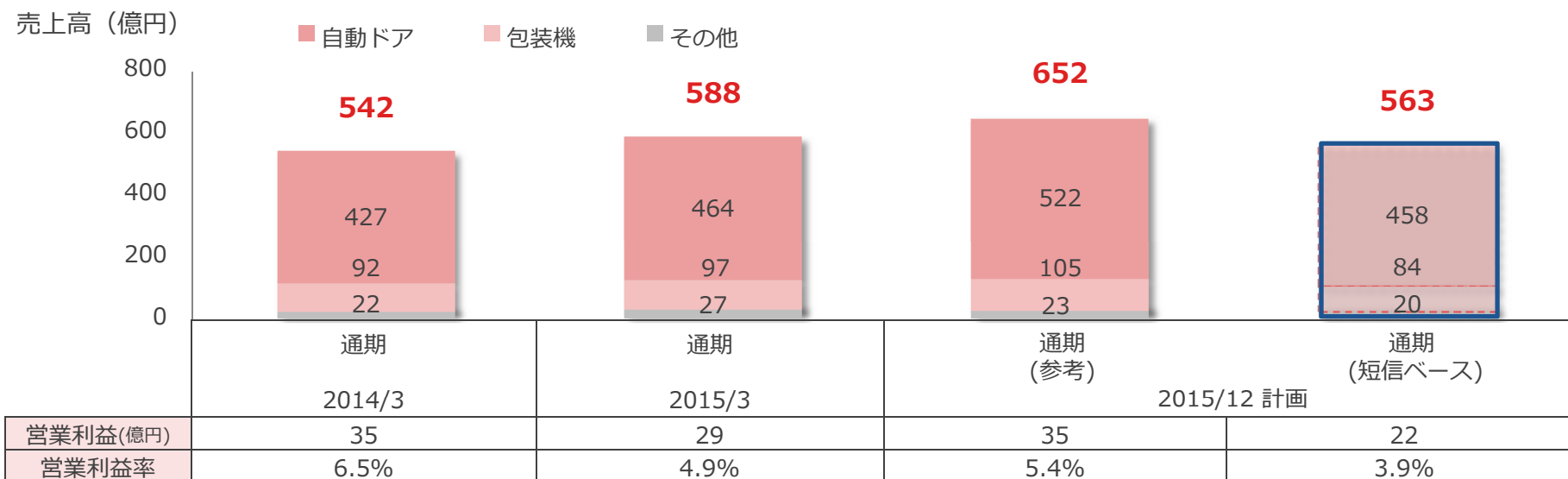
営業利益(セグメント)

15/3 : 油圧機器での減収に伴う減益により、減益

15/12 (参考) : 中国における建設機械需要低迷の持続に加え、M&Aによる費用発生を受け減益の見通し

産業用機器事業

業績実績及び計画



「2015年12月期計画（参考）」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となります。

前期比増減要因

自動ドア

15/3 : 国内外市場での堅調な需要と為替効果により増収

15/12 (参考) : 堅調な国内外需要、前期に実施した販社買収に伴う売上増加、為替効果により増収の見通し

包装機

15/3 : 国内外での売上が堅調に推移し増収

15/12 (参考) : 海外売上増加により増収の見通し

営業利益(セグメント)

15/3 : IT投資、M&A関連費用の増加により減益

15/12 (参考) : 自動ドアでの増収に伴い増益の見通し

設備投資額・研究開発費・減価償却費

■ 中長期での成長に向け設備投資・研究開発費を増加

(単位：百万円)	2014/3 実績	2015/3 実績	2015/12 計画(参考)
設備投資額	6,760	6,918	18,000
研究開発費	6,401	6,876	8,000
減価償却費	7,600	6,258	8,200

「2015年12月期計画（参考）」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となります。

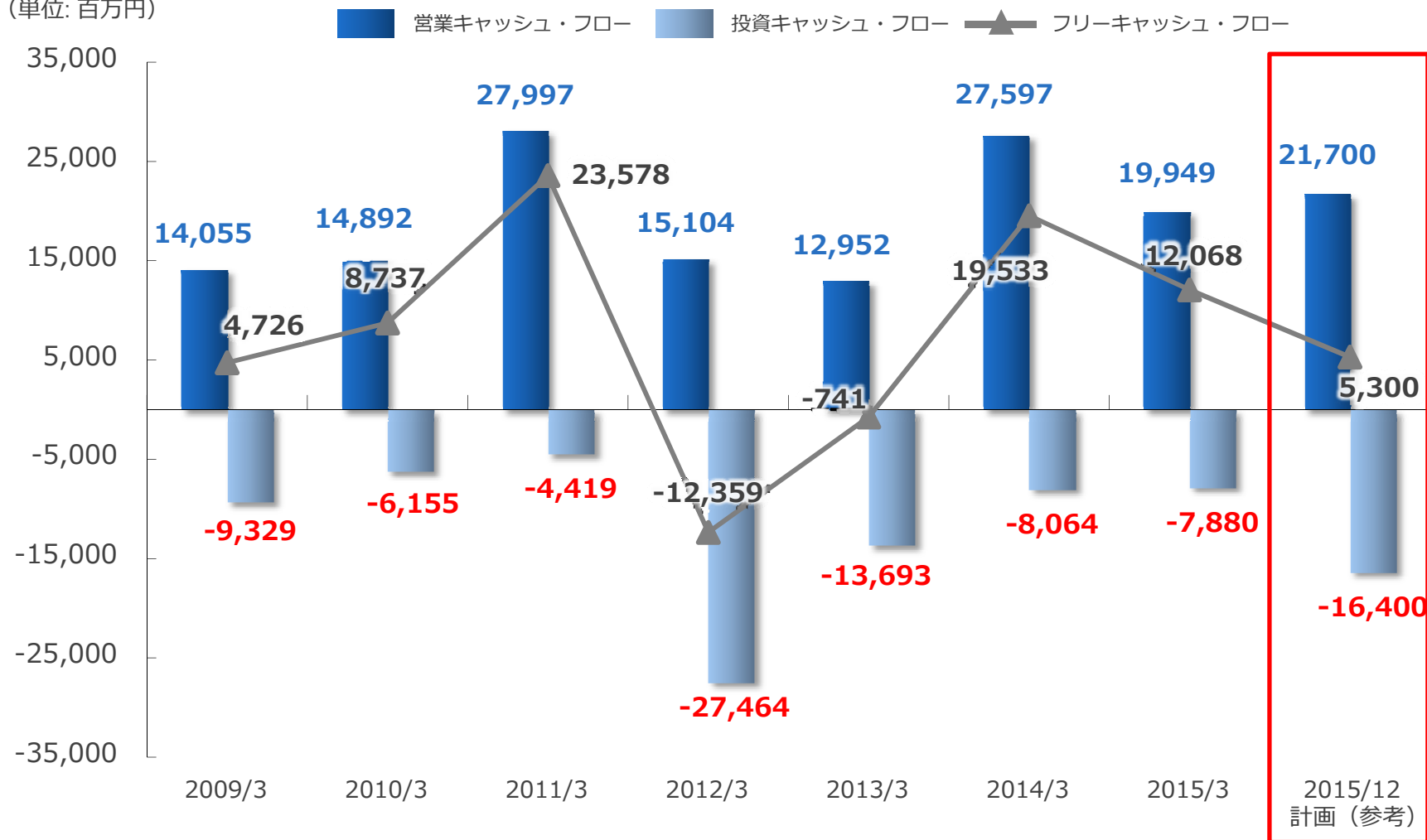
Notes

- 設備投資：15/12期計画は参考値ベースで、大幅な増加を見込む。前期未消化分の繰り越しに加え、国内工場の近代化および精密減速機・航空機器での増産対応を予定
- 研究開発費：基盤技術の強化、新製品開発を積極化

連結キャッシュ・フロー

- 投資キャッシュフロー増加に伴い、2015/12期のフリーキャッシュ・フローは参考開示値ベースで前期比減少するがプラスを維持

(単位: 百万円)



「2015年12月期計画 (参考)」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間 (12カ月間) に置き換えて算出した数値となります。

3. 中期経営計画について



中期経営計画の進捗

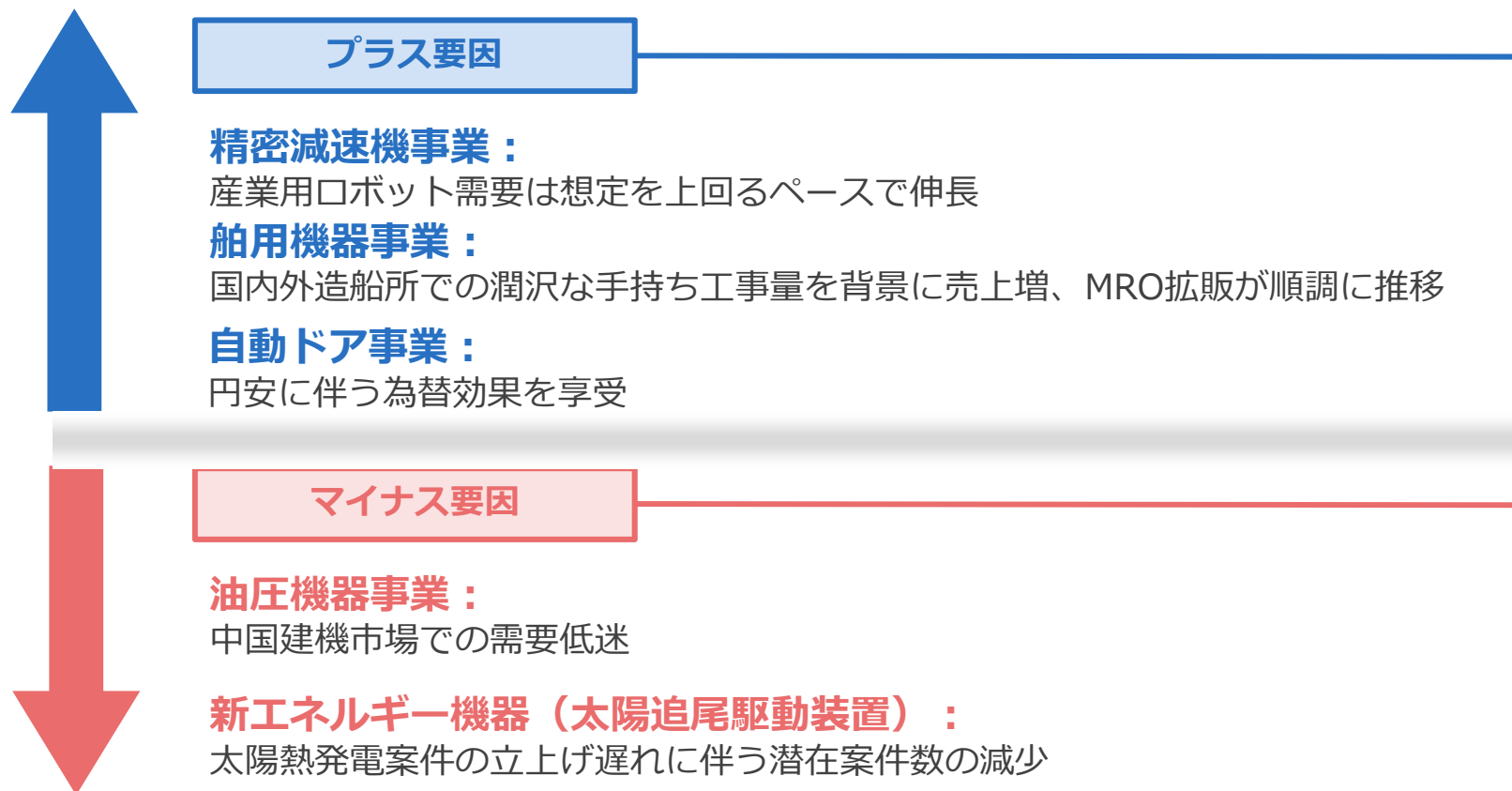
■ 中期経営計画最終年度の計画達成を目指す

	2015年3月期 実績	2015年12月期 計画 (参考)	2017年3月期 中期計画最終年度
売上高	2,196億円	2,420億円	2,800億円±5%
営業利益	236億円	247億円	340億円
営業利益率	10.8%	10.2%	12.0%
当期利益	177億円	184億円	240億円
EPS	140.24円	145.39円	190円
ROA	7.4%	7.2%	7.5%
ROE	12.6%	11.9%	15.0%
配当額	44円(予)	-	-
配当性向	31.4%(予)	-	30%以上

「2015年12月期計画（参考）」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となります。

中期経営計画公表時からの事業環境変化

■ 中計最終年度に対するプラス要因・マイナス要因を踏まえ、全社ベースでの計画達成へ



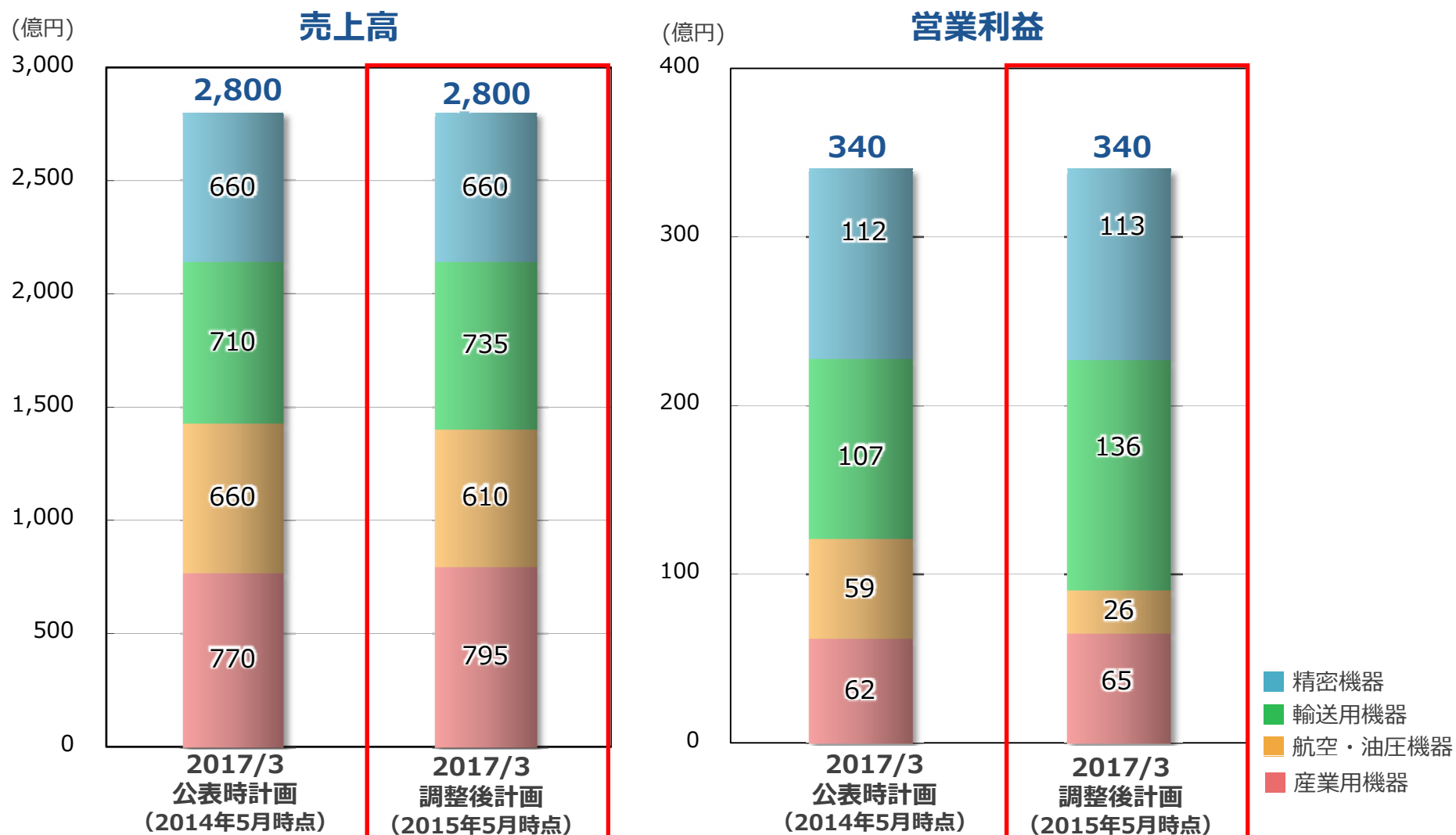
Notes

為替前提を変更

公表時計画（2014年5月時点）：US\$1=¥100.00 RMB1=¥16.40 EUR1=¥130.00 CHF1=¥107.00
調整後計画（2015年5月時点）：US\$1=¥115.00 RMB1=¥18.50 EUR1=¥124.00 CHF1=¥118.00

中期経営計画 セグメント別 売上高・営業利益見通し

■ 中計最終年度でのセグメント別売上高・営業利益に事業環境の変化を反映

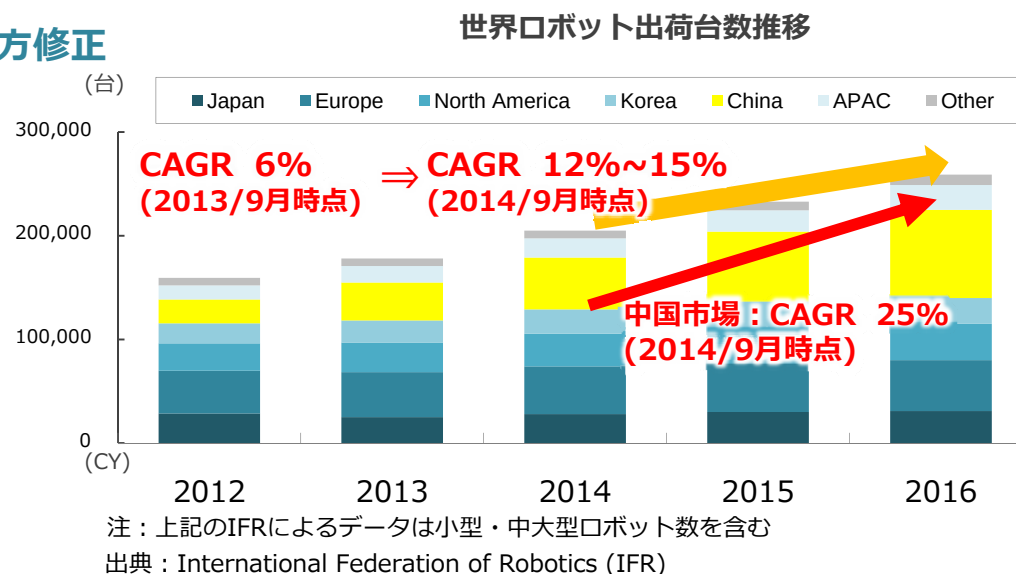


精密機器事業（中計最終年度見通しと取り組み）

- 太陽追尾駆動装置の受注時期遅れによる減収を精密減速機事業の成長加速でカバーし、当初計画値を据え置き

精密減速機事業

- IFRによる世界ロボット出荷台数見通しが上方修正



- 中長期的な需要増に向け安定供給体制を構築

中国新工場を常州市に設立。2016年から順次立ち上げ。最終生産能力は20万個

津工場の能力増強 60万個⇒66万個

新エネルギー機器事業

- 風力発電機用駆動装置：新エネルギー機器の事業基盤として安定成長を確保
- 太陽追尾駆動装置：2020年以降での本格的な市場拡大に向け、先行地位を確立

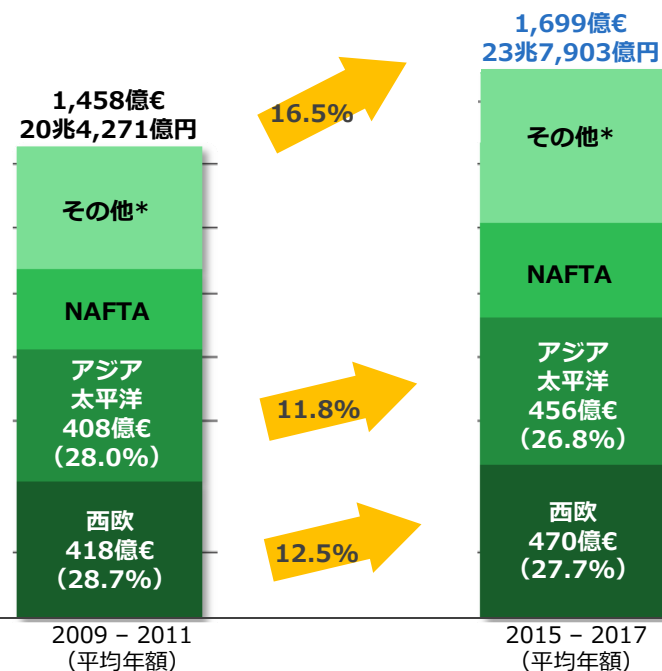
輸送用機器事業（中計最終年度見通しと取り組み）

- 舶用機器事業では、想定を上回る需要増およびMRO拡大により、当初計画値を上方修正
- 鉄道車両用機器事業・商用車用機器事業は計画通り

鉄道車両用機器事業

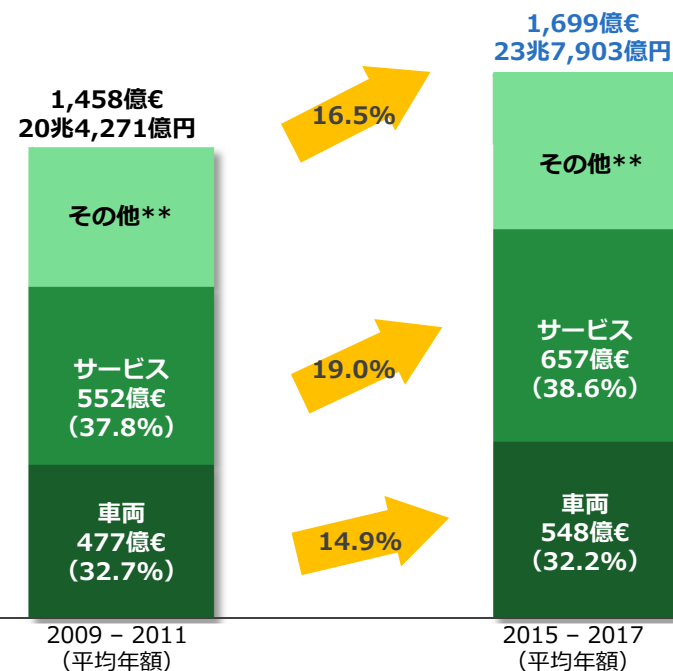
- 中国向け鉄道需要は緩やかに拡大
- 欧州市場への積極的な取り組み Bombardier社からグローバルサプライヤーに認定
Siemens社から初受注(フランス「レンヌ地下鉄」)
- MROの推進

鉄道産業の市場規模（地域別）



*その他：東欧・CIS・アフリカ・中東、NAFTA以外の中南米

鉄道産業の市場規模（セグメント別）



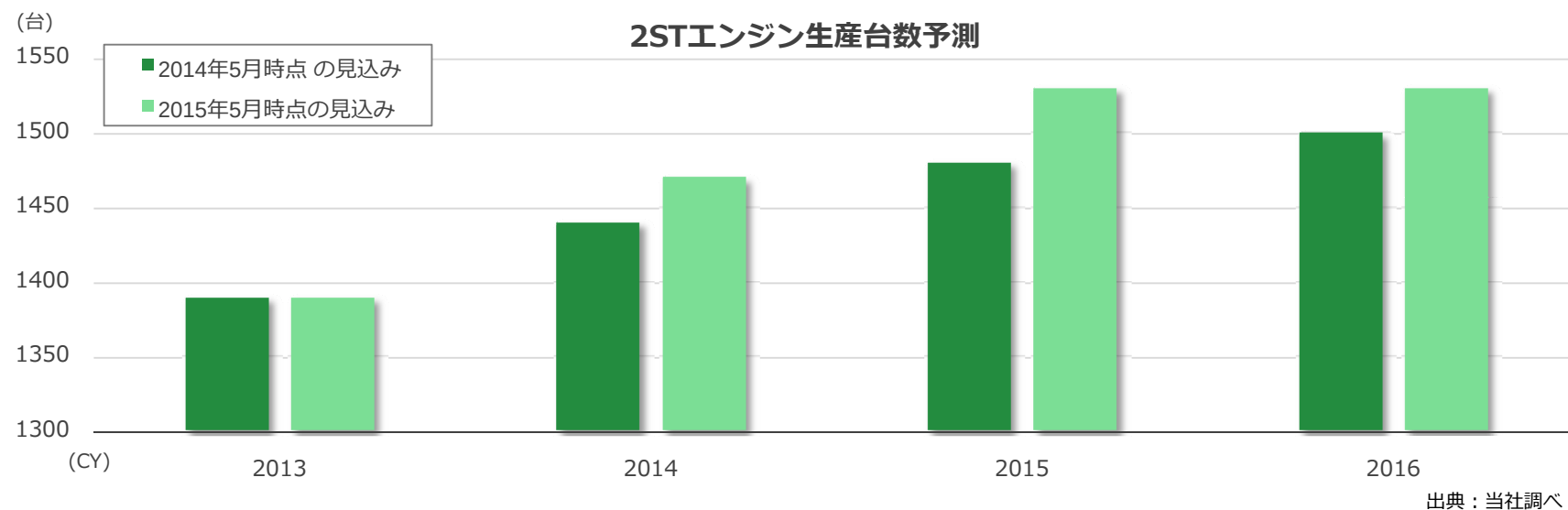
**その他：インフラ、信号・制御

出典：UNIFE/欧州鉄道産業連盟

輸送用機器事業（中計最終年度見通しと取り組み）

船用機器事業

- 国内外造船所の手持ち工事量増加の恩恵を享受
- 電子化エンジン需要が好調
- MROの推進



商用車用機器事業

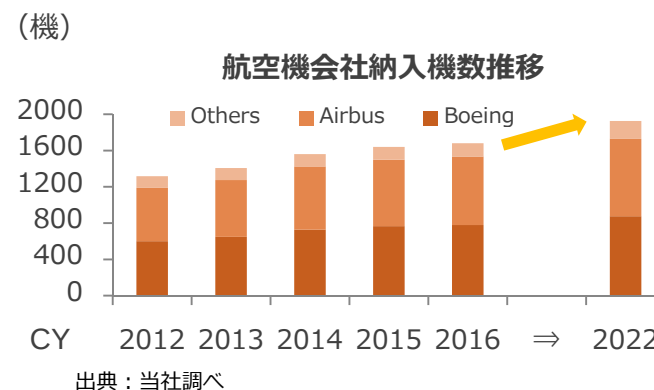
- タイ工場拡大による需要の取り込み強化
- インドでのマーケティング強化・受注拡大

航空・油圧機器事業（中計最終年度見通しと取り組み）

- 油圧機器事業での中国建機市場向け需要減少の影響により、当初計画値を下方修正
航空機器は計画通り

航空機器事業

- 民間航空機向け受注済みプログラムの次期中期計画以降での寄与を見込む（B737MAX、MRJ、B777X）
- 現中期計画期間では、2017年スタートの次期中期計画に向けた生産体制の拡充を行う



油圧機器事業

- 中国建機市場は15年を底に16年からの回復を見込む
- 収益性改善に向け、中国工場の再編効果およびハイエスト買収によるシナジーを追求

ハイエスト買収に伴う製品ラインアップ拡充

	中・大型 (7t以上)					小型 (7t未満)				
	シリンダ	走行	旋回	ポンプ	バルブ	シリンダ	走行	旋回	ポンプ	バルブ
当社		●					●			●
ハイエスト			●	●	●			●	●	●

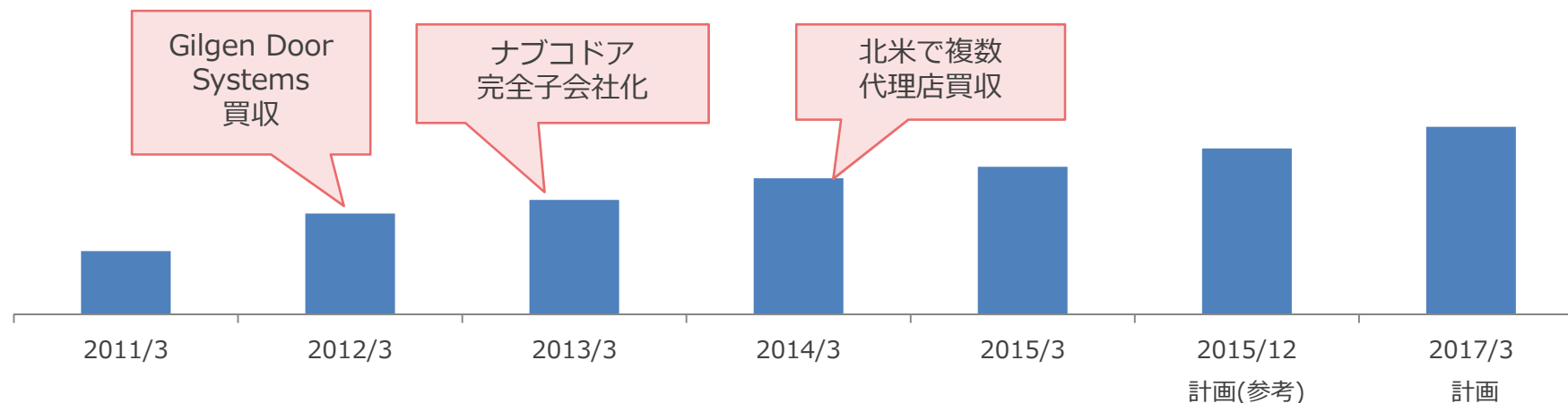
産業用機器事業（中計最終年度見通しと取り組み）

- 自動ドアでの為替効果を受け、当初計画値を上方修正
包装機は計画通り

自動ドア

- 海外でのM&Aによる事業規模拡大
- 買収先の融合とガバナンスの強化による収益向上

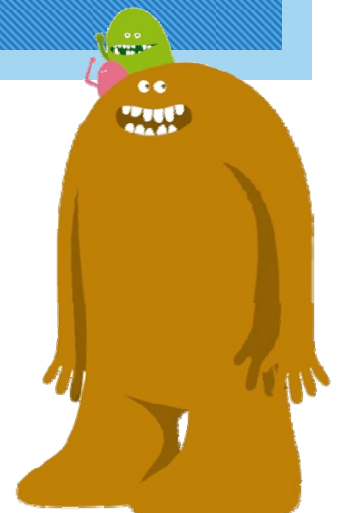
自動ドア事業連結売上イメージ



包装機事業

- 海外拠点および代理店強化策による海外売上の拡大（欧米中）

Appendix



精密機器セグメント 主要製品

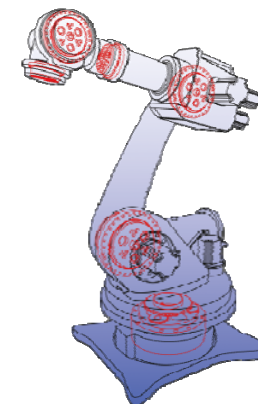
精密減速機

■ 産業用ロボットの関節用途



■ 工作機械 ATC駆動分野

(ATC = Automatic Tool Changer)

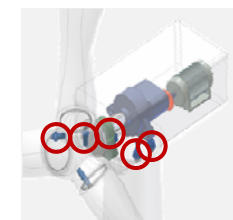


新エネルギー機器

■ 太陽追尾駆動装置



■ 風力発電用駆動装置



主要顧客 (敬称略)

■ 精密減速機

産業用ロボット：ファナック、安川電機、川崎重工業、KUKA Roboter (独)、ABB Robotics (スウェーデン)

工作機械：ヤマザキマザック、オークマ、DMG森精機

■ 新エネルギー事業

太陽追尾装置：Cobra Thermosolar Plant (スペイン)

風力発電機用駆動装置：三菱重工業、日立製作所、他

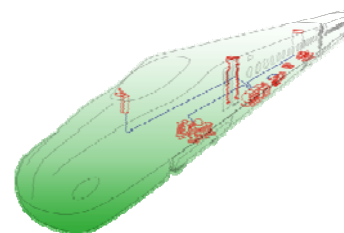
輸送用機器セグメント 主要製品

鉄道車両用機器

■ 鉄道車両用ブレーキシステム



■ 鉄道車両用ドア開閉装置



商用車用機器

■ 商用車用ウェッジチャンバー

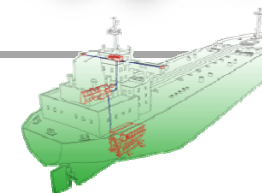


■ 商用車用エアドライヤー



船用機器

■ 船用エンジン遠隔制御システム



主要顧客 (敬称略)

■ 鉄道車両用機器

JR各社、民鉄各社、川崎重工業、中国高速鉄道・都市交通向け

■ 商用車用機器

日野自動車、三菱ふそうトラック・バス、いすゞ自動車、UDトラックス

■ 船用機器

川崎重工業、三井造船、三菱重工業、日立造船

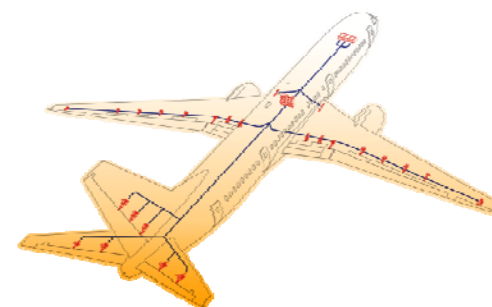
Hyundai Heavy Industries (韓)、Doosan Engine (韓)、Hudong Heavy Machinery (中)、MAN Diesel (デンマーク)

航空・油圧機器セグメント 主要製品

航空機器

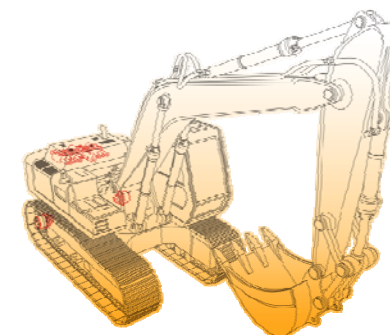
■ フライトコントロール・アクチュエーションシステム(FCA)

- FCAでは世界4強の1社(ボーイングの主要サプライヤー)
- エンジン補機、電源システム等へも事業展開



油圧機器

■ パワーショベル用走行モーター



主要顧客 (敬称略)

■ 航空機器

Boeing (米)、川崎重工業、三菱重工業、IHI、防衛省、エアライン各社

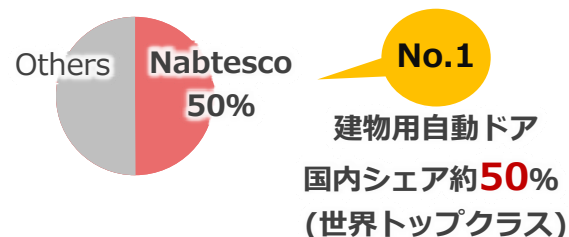
■ 油圧機器

走行モーター：コマツ、コベルコ建機、クボタ、住友建機、Sany、Zoomlion、Xugong Excavator、Liu Gong

産業用機器セグメント 主要製品

自動ドア

■ 自動ドア開閉装置

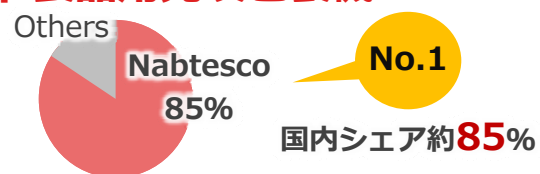


■ プラットホームスクリーンドア



包装機

■ レトルト食品用充填包装機



主要顧客 (敬称略)

■ 自動ドア

各種建物用自動ドア：大手ゼネコン他建設工事会社、サッシメーカー、病院、銀行、公共機関

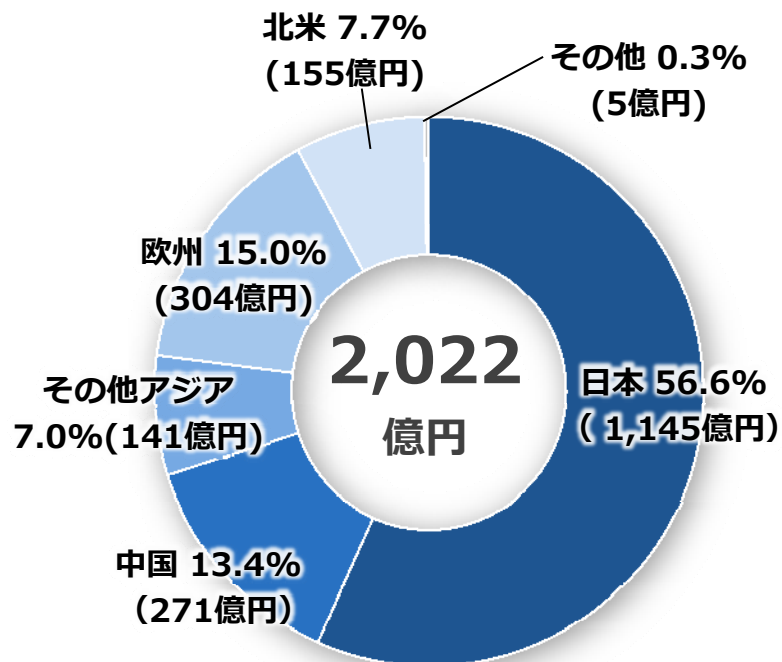
プラットホームドア：フランス地下鉄、中国地下鉄、他

■ 包装機

三井製糖、味の素、丸大食品、アリアケジャパン、ケンコーマヨネーズ、P&G、花王、ライオン、北米飲料メーカー、中国食品メーカー

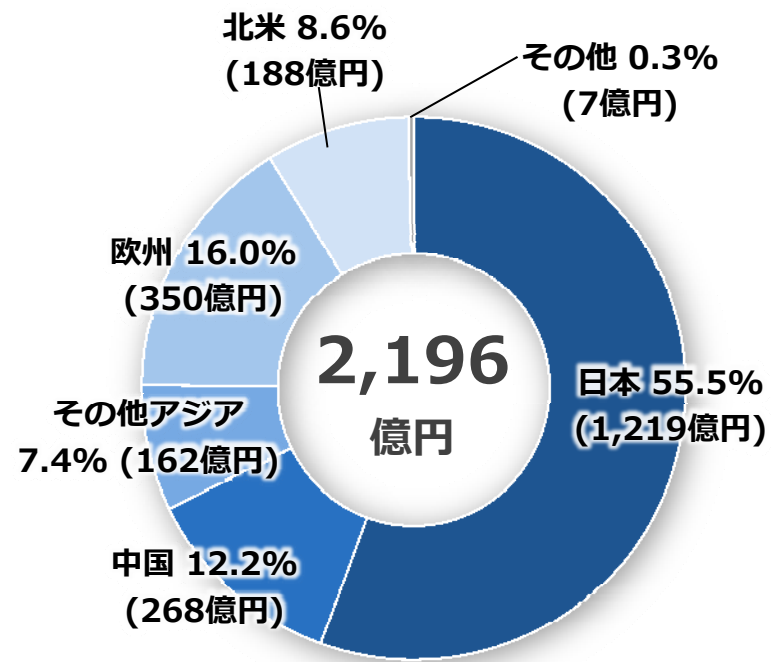
地域別売上高構成比

2014/3実績



海外売上高	877億円
海外売上高比率	43.4%

2015/3実績



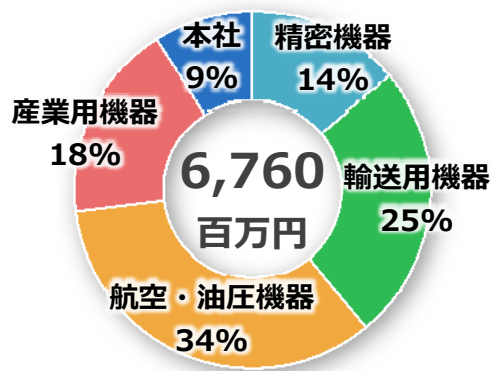
海外売上高	977億円
海外売上高比率	44.5%

Notes

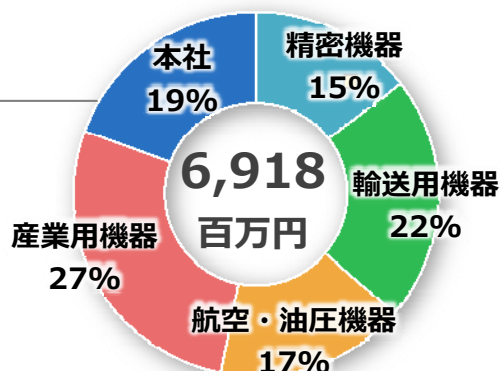
- 精密減速機および自動ドアの欧州・北米向け売上の拡大、航空機器の北米向け売上増加
- 油圧機器の中国向け売上減少
- 上記の結果、海外売上高比率は44.5%に上昇

設備投資額内訳

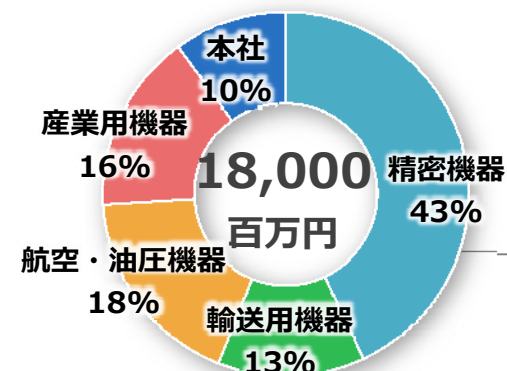
セグメント別



- 国内社宅更新
- ITインフラ整備

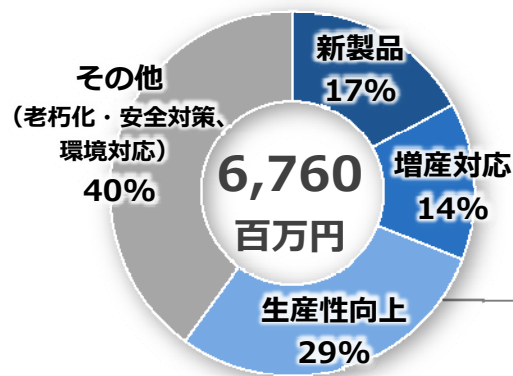


- 国内外各工場の設備更新を含めた近代化投資

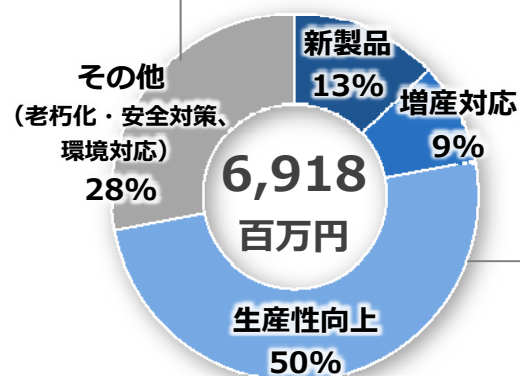


- 精密減速機
-中国新工場建設
-津工場増産対応
- 航空機器 岐阜工場設備増強

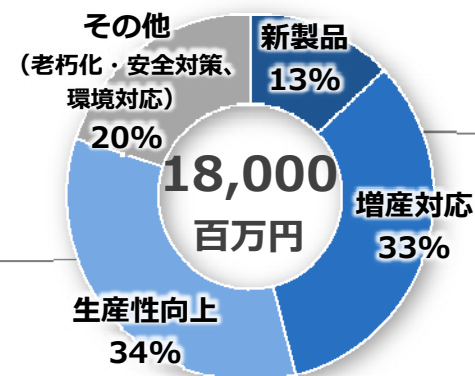
目的別



2014/3実績



2015/3実績

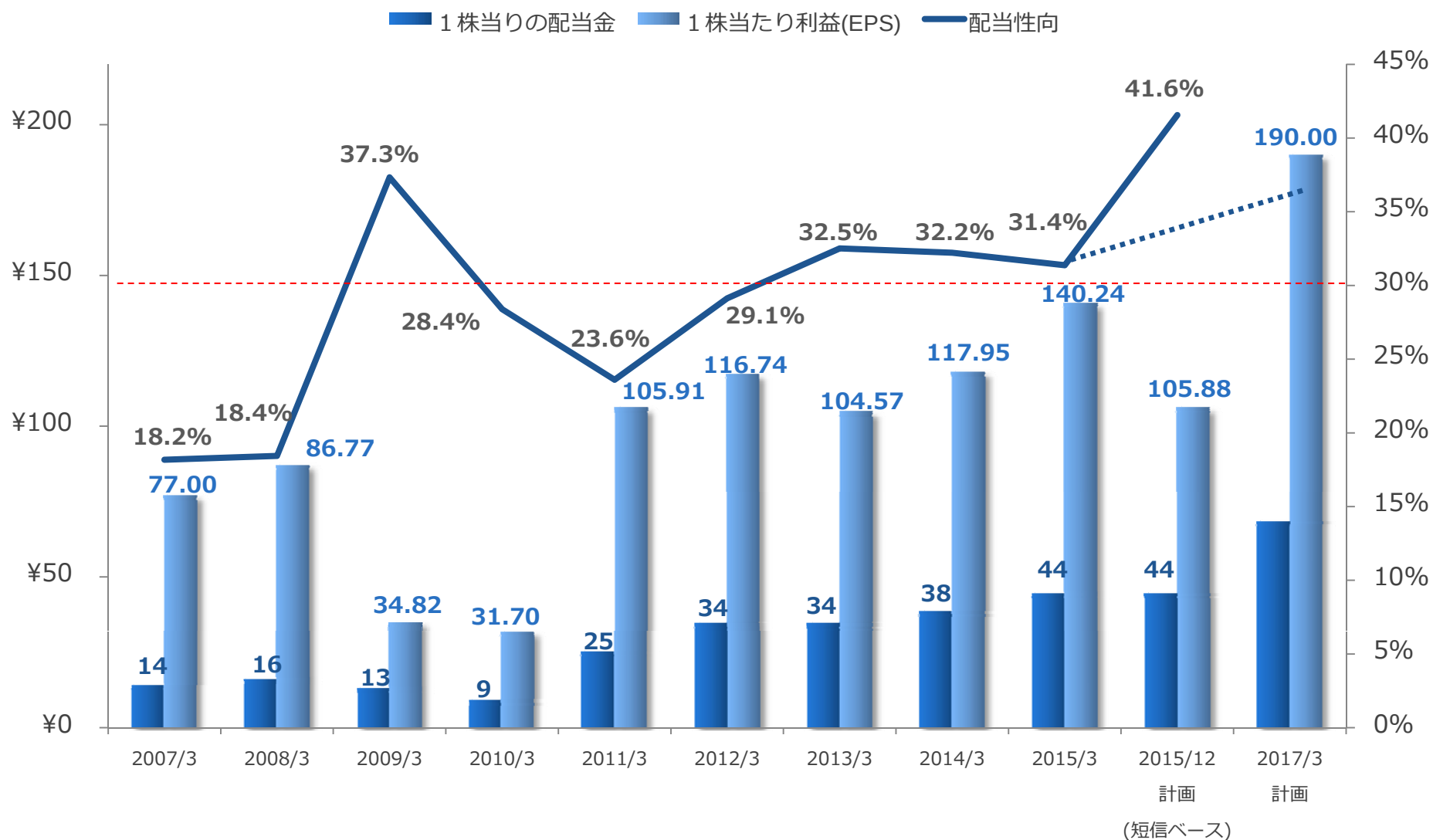


2015/12計画（参考）

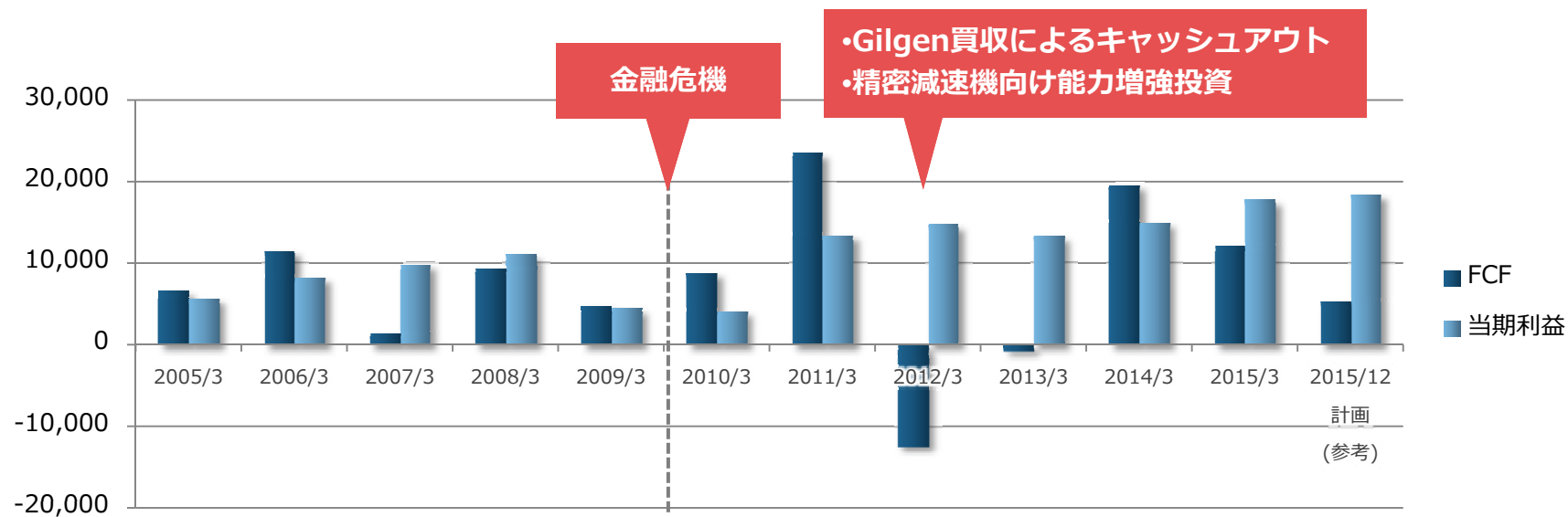
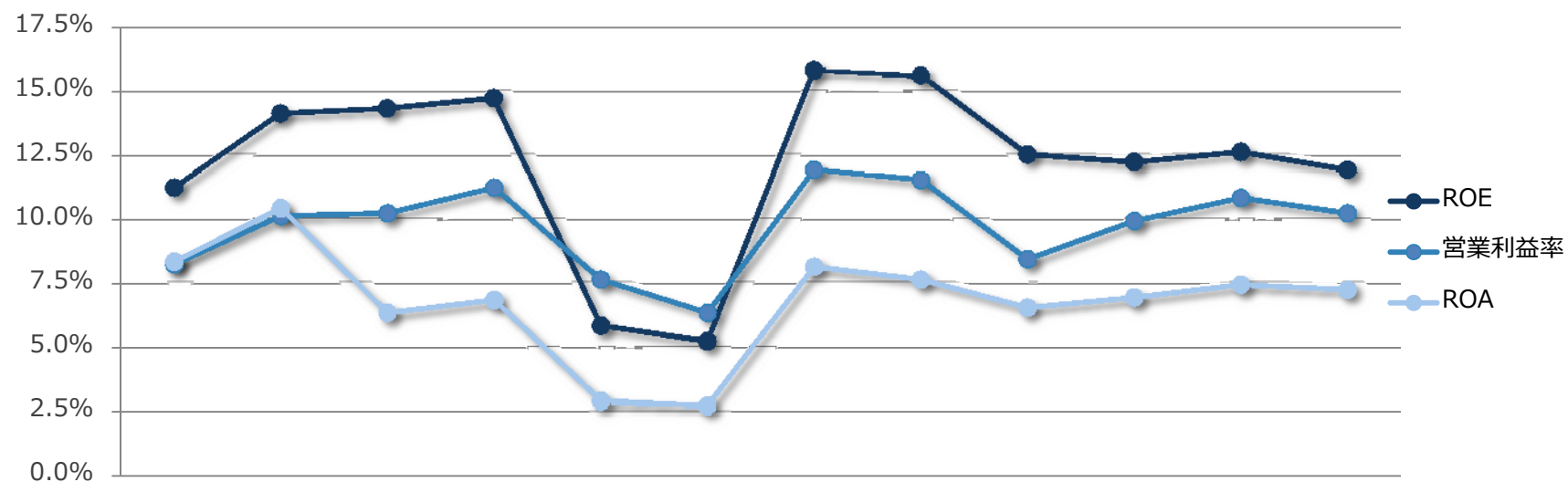
「2015年12月期計画（参考）」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となります。

配当額・配当性向の推移

■ 安定配当を考慮しつつ、配当性向30%以上を維持

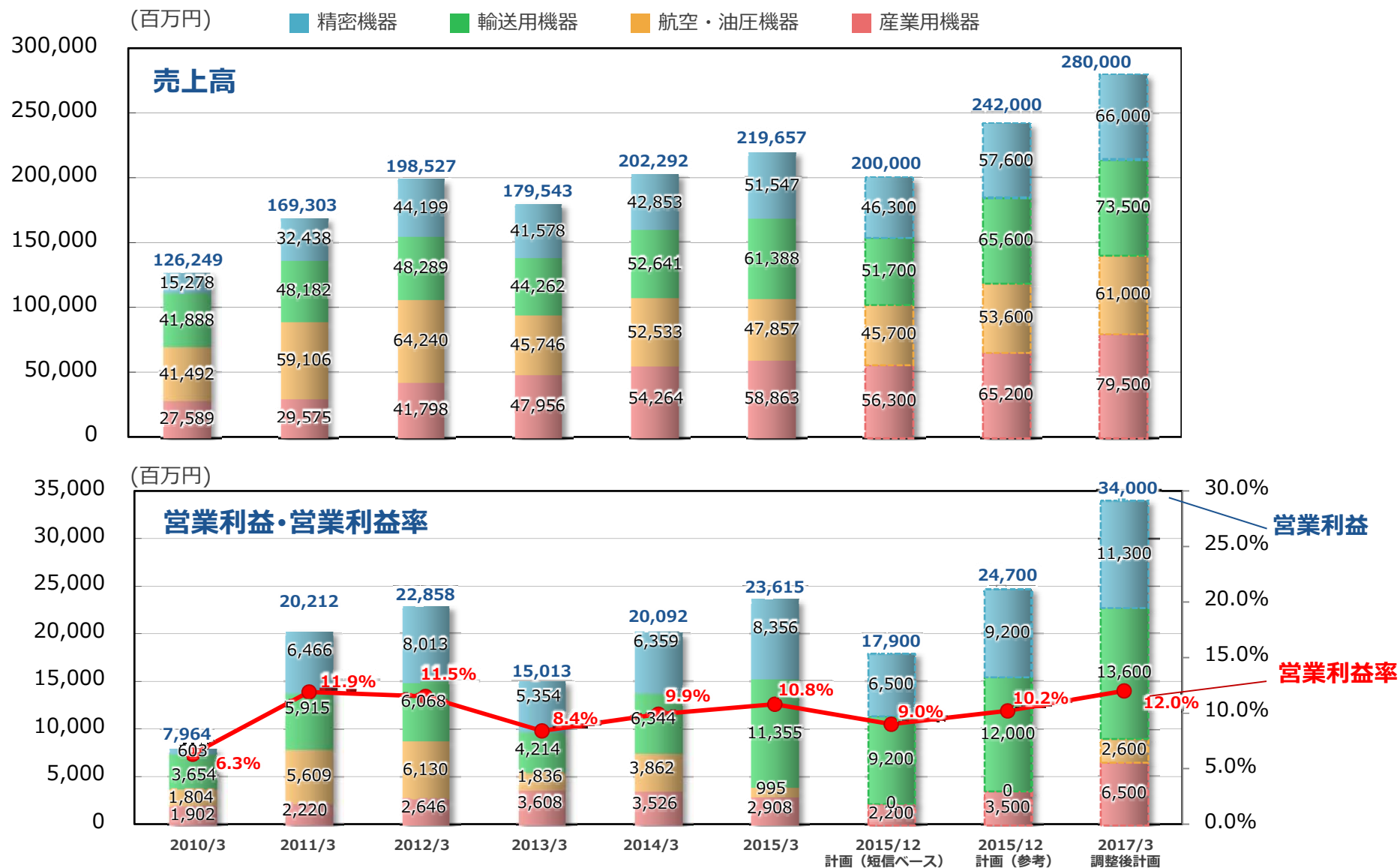


ROA/ROE推移



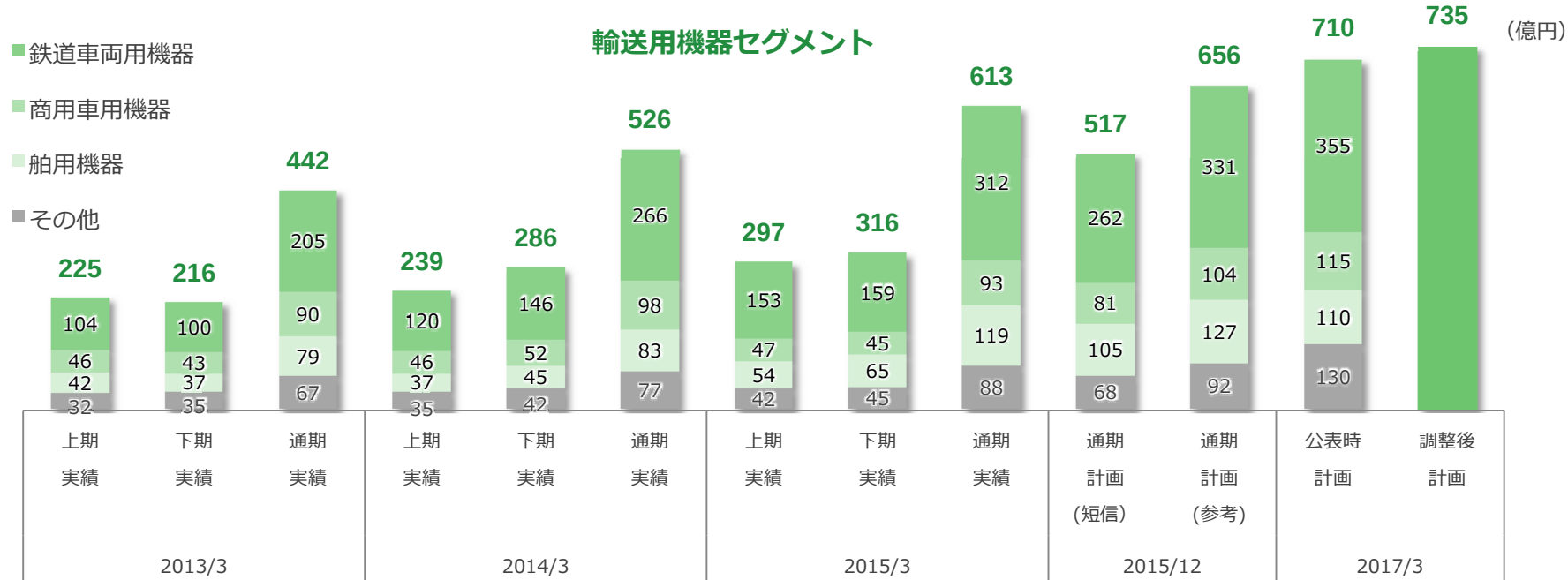
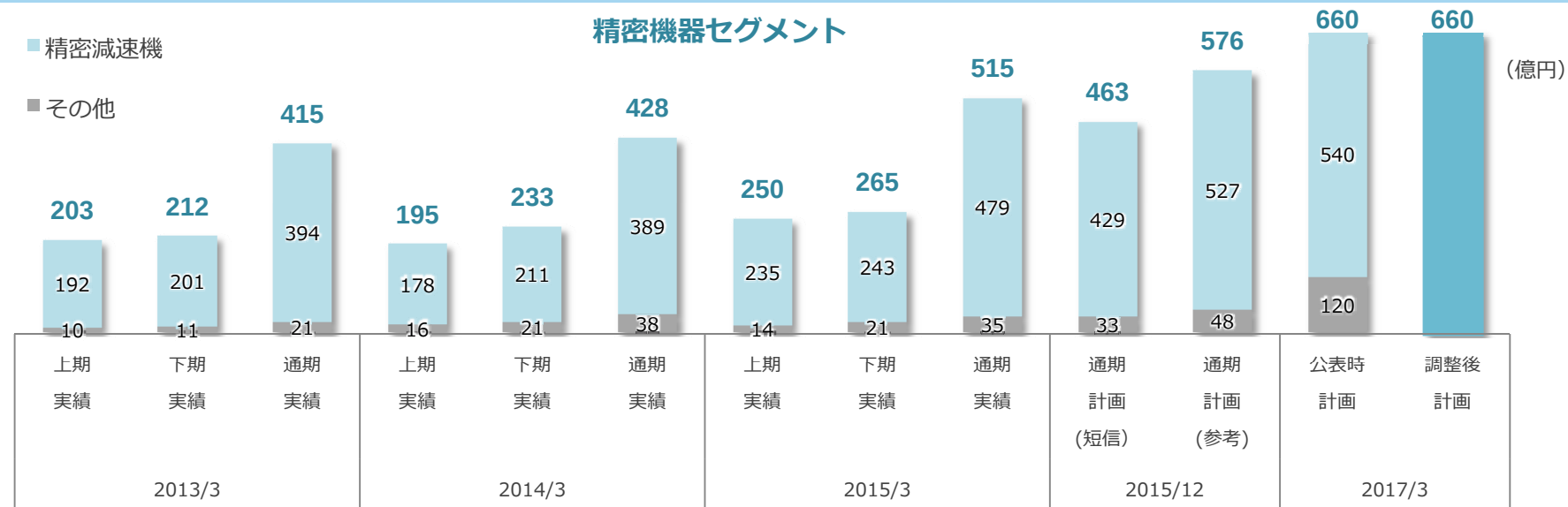
「2015年12月期計画（参考）」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となります。

事業セグメント別 売上高・営業利益推移

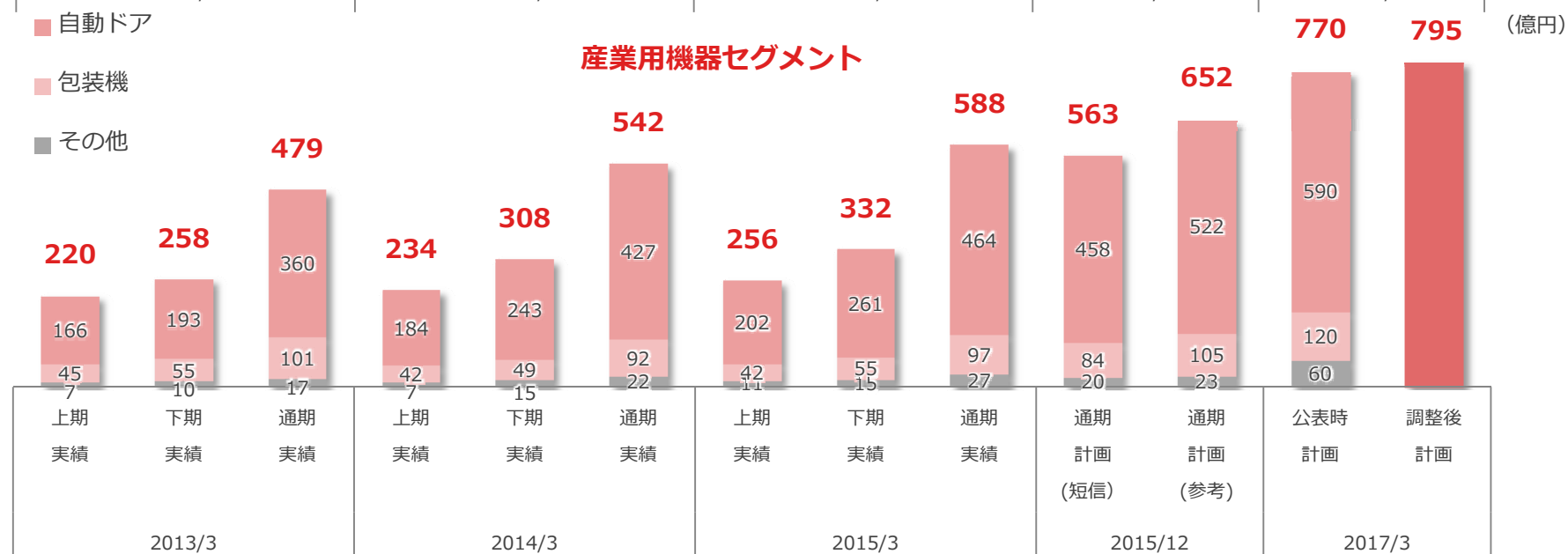
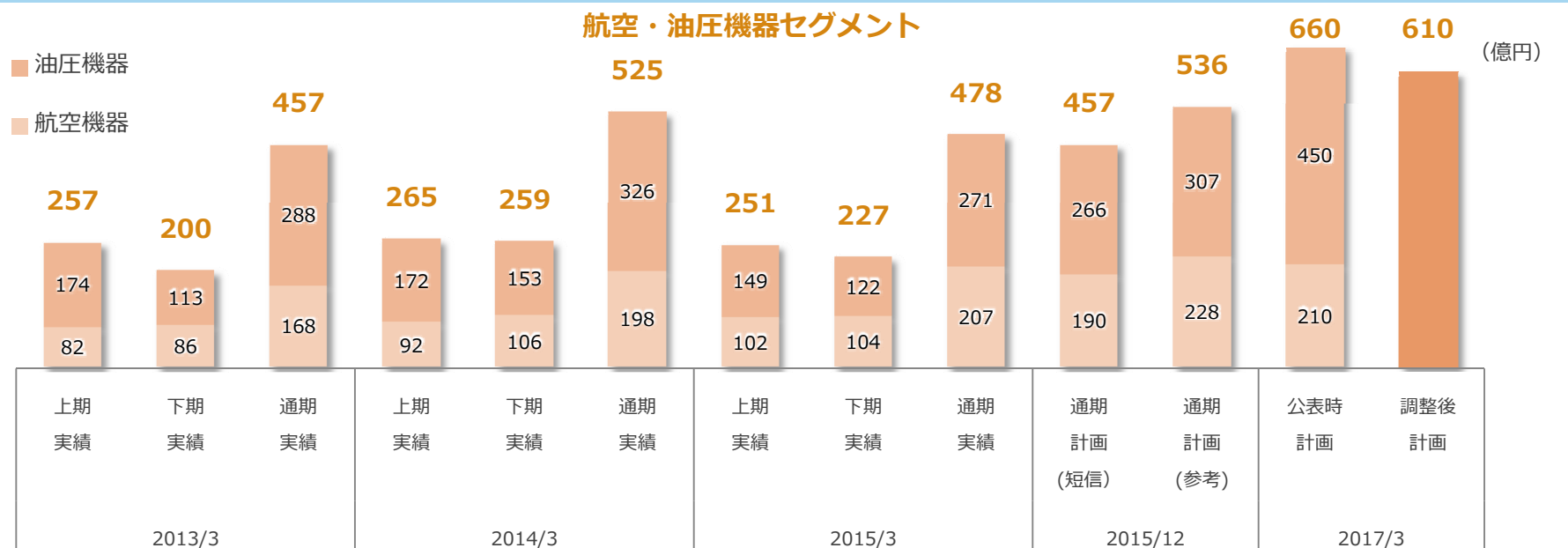


「2015年12月期計画（参考）」として示す数値は、「2015年3月期実績」に対して、同条件で比較を行うため、比較対象期間を同期間（12カ月間）に置き換えて算出した数値となります。

事業別 売上高推移



事業別 売上高推移



トピックス

2014年4月

- ・「ナブテスコグループCSR 調達方針」の制定
- ・国連グローバル・コンパクトへの参加表明
- ・精密減速機『RV (TM) 』シリーズ生産累計500 万台達成
- ・“2013年 ボーイング サプライヤー・オブ・ザ・イヤー”を受賞



2014年5月

- ・インド駐在員事務所開設

2014年9月

- ・社会的責任投資の国際指標「Dow Jones Sustainability Indices (DJSI) のAsia Pacific Index」に再選定
- ・船舶用『電子ガバナ装置』納入累計7000 台を達成

MEMBER OF
**Dow Jones
Sustainability Indices**
In Collaboration with RobecoSAM



2014年10月

- ・当社『パニックフリドア』が「第8 回キッズデザイン賞」を受賞
- ・格付投資情報センター(R&I)より、発行体格付け「A（安定的）」を新規取得

2014年12月

- ・Bombardier 社から日本初の『鉄道車両用運転室ドアおよび車内ドア』のグローバルサプライヤーに認定

2015年2月

- ・中国における精密減速機の生産拠点設立および同国での油圧機器事業再編を発表
- ・中国の減速機用歯車製造会社の完全子会社化および精密減速機生産拠点への移転を発表

2015年3月

- ・ハイエストコーポレーション買収を発表
- ・ボーイング 777X 向けフライト・コントロール・アクチュエーション・システムを受注

2015年4月

- ・社会的責任投資の国際指標「FTSE4Good Index Series」に12半期連続で選定
- ・Siemens AG からフランス「レンヌ地下鉄」 B 路線向け NEOVAL 車両の乗客用ドアを受注



FTSE4Good

うごかす、とめる。

Nabtesco

